

平成26年度当初予算 施策 取組概要

**134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保**

(主担当部局：健康福祉部)

- 13401 薬物乱用防止対策の推進 (健康福祉部)
- 13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保 (健康福祉部)
- 13403 生活衛生営業の衛生水準の確保 (健康福祉部)
- 13404 人と動物との共生環境づくり (健康福祉部)

**県民の皆さんとめざす姿**

さまざまな主体との連携により、薬物乱用防止や動物愛護について地域全体で取り組んでいます。また、医薬品や医療機器などの品質管理体制の整備により、医薬品等の安全が確保された社会が構築されています。

**平成27年度末での到達目標**

多くの関係機関等と連携して普及啓発活動を行うことにより、薬物乱用防止や動物愛護に対する意識が向上しています。また、医薬品や医療機器などの製造から販売に至る一貫した監視指導を行うことにより、安全な医薬品等が供給されています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
薬物乱用防止講習会の参加者数(累計)	/	245,200人	295,200人		345,200人	395,200人
	204,790人	264,566人			/	/
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県等が行う薬物乱用防止講習会に参加した人数					
26年度目標値の考え方	27年度の目標達成に向けて、24年度目標値を基準として毎年5万人の参加をめざす目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
13401 薬物乱用防止対策の推進 (健康福祉部)	薬物乱用防止事業の協力者数	/	2,981人	3,052人		3,123人	3,194人
		2,933人	3,014人			/	/
13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保 (健康福祉部)	医薬品等の検査件数に対する不適合医薬品等の割合	/	0%	0%		0%	0%
		0%	0%			/	/
13403 生活衛生営業の衛生水準の確保 (健康福祉部)	生活衛生営業施設における健康被害発生件数	/	0件	0件		0件	0件
		0件	0件			/	/
13404 人と動物との共生環境づくり (健康福祉部)	犬・猫の引取り数	/	3,351頭	3,285頭		3,285頭	3,285頭
		3,373頭	3,249頭			/	/

## 進捗状況（現状と課題）

- ・「平成 25 年度三重県薬物乱用対策推進計画」を策定し、警察本部、教育委員会等関係機関と連携して薬物乱用防止対策を推進しています。また、保健所ごとに組織された各地区薬物乱用指導者協議会が中心となり、自主的、かつ地区の特色を活かした啓発活動を展開しています。今後も引き続き、県民への普及啓発に取り組む必要があります。
- ・違法（脱法）ドラッグについては、化学構造が類似している物質群を指定薬物として包括的に規制する制度が導入され、規制強化が図られたこともあり、引き続き立入調査や啓発活動を実施する必要があります。
- ・医薬品等の製造販売業者に対して、製造時における医薬品等の品質管理、市販後の安全体制の整備や安全管理情報の収集等について、医薬品等の製造業者に対しては、製造管理や品質管理の方法が適正かどうかについて、監視指導を実施しました。製造管理を起因とする不良医薬品等の発生を防止するため、引き続き医薬品等の製造業者等の監視指導を行う必要があります。
- ・現在献血率が全国最下位である 10 代、20 代の若年層の献血に対する意識を把握し、若年層の献血について効果的な対策を講じるために、現在、県内の高校生、専門学校生、大学生を対象にアンケート調査を実施しています。
- ・レジオネラ菌による健康被害が発生しやすい浴場施設に対し、自主衛生管理の促進を行ってきたところですが、定着率が向上するよう引き続き自主衛生管理を促進するとともに、他の生活衛生営業施設についても監視指導等を行い、健康被害の発生を防止することが必要です。
- ・動物愛護教室などの普及啓発活動、譲渡事業、引取り数を減らす取組等を行っていますが、「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正により、犬および猫の処分をなくすことをめざすとされたことから、さらに取組を強化し処分数を減らすことが必要です。また、同法の改正に合わせた環境省の基本指針に則し三重県動物愛護管理推進計画の改訂を行っており、この計画の検討と合わせて、動物愛護管理事業の中核となる「三重県動物愛護管理センター」の機能充実等について引き続き検討していく必要があります。

## 平成 26 年度の取組方向

### 健康福祉部

- ・引き続き、民間団体、学校、市町等と連携して、地域の実情に応じた薬物乱用防止啓発活動や再乱用防止対策に努めるとともに、麻薬等を取り扱う施設の監視指導や自生しているけしの除去などを行います。
- ・違法（脱法）ドラッグ対策については、引き続き関係事業者への立入調査や県民への啓発活動を実施するとともに、関係機関と連携して厳正・的確な対応をしていきます。
- ・医薬品等の安全確保のため、医薬品製造業者や販売業者等に対する監視指導を行うとともに、県民の皆さんに対して医薬品等の副作用や服用方法などに関する正しい知識の情報提供を進めます。
- ・献血については、これまでの取組に加えて、現在実施している献血への意識調査の結果も踏まえ、若年層に対して、より効果的な啓発等の実施に努めます。
- ・レジオネラ菌による健康被害を防止するため、引き続き、浴場施設での自主衛生管理を促進するとともに、生活衛生営業施設を対象として、感染症による健康被害を発生させないための監視指導を行います。
- ・平成 25 年度に改訂した三重県動物愛護管理推進計画に基づき、動物の適正飼養について普及啓発等を行うとともに、処分数の減少をめざし、保健所での犬および猫の引取り数のさらなる減少や、譲渡事業などに取り組めます。また、これらの動物愛護管理事業の中核となる施設として、「三重県動物愛護管理センター」の機能充実等に取り組めます。

健康福祉部

- 薬物「ダメ。ゼッタイ。」みえ県民運動推進事業【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】  
予算額：(25) 4, 881千円 → (26) 5, 201千円  
事業概要：薬物乱用防止を推進するため、民間団体や関係機関と連携して、薬物乱用防止講習会などを実施するとともに、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動をはじめ麻薬・覚醒剤乱用防止運動等の啓発活動に取り組みます。
  
- 麻薬取締費【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】  
予算額：(25) 3, 078千円 → (26) 2, 449千円  
事業概要：麻薬・覚醒剤等の不正使用や不正流通の防止を図るため、麻薬等を取り扱う施設の監視指導を行うとともに、民間団体や関係機関と連携して自生しているけしの除去などに取り組みます。
  
- 薬事審査指導費【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(25) 9, 758千円 → (26) 10, 099千円  
事業概要：医薬品等の品質、有効性、安全性を確保するため、製造業等の査察及び薬局・医薬品販売業等の監視、指導を行うとともに、違法・脱法ドラッグ販売店舗の立入調査や県民への啓発活動を実施します。
  
- 血液事業推進費【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(25) 2, 900千円 → (26) 3, 573千円  
事業概要：血液製剤の安定確保のため三重県献血推進連絡会で献血者の確保に向けた意見交換・情報共有を行うとともに、若年層に対して、より効果的な啓発等の実施に努めます。
  
- 生活衛生諸費【基本事業：13403 生活衛生営業の衛生水準の確保】  
予算額：(25) 535千円 → (26) 3, 657千円  
事業概要：生活衛生営業施設等の監視指導、公衆浴場施設における自主衛生管理を重点的に推進するとともに、市町が引取者のいない死亡人の埋葬・火葬に要した費用について、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき負担します。
  
- 動物愛護管理推進事業【基本事業名：13404 人と動物との共生環境づくり】  
予算額：(25) 2, 894千円 → (26) 2, 770千円  
事業概要：動物愛護管理体制の充実を図るため、関係団体等と連携し、犬や猫の譲渡事業、動物愛護教室の開催や危害発生防止に取り組みます。
  
- （一部新）小動物管理費【基本事業名：13404 人と動物との共生環境づくり】  
予算額：(25) 106, 220千円 → (26) 123, 660千円  
事業概要：保健所に収容された犬および猫の譲渡・処分等を三重県動物愛護管理センターに委託するとともに、センターの施設整備と機能の拡充に向けた準備を進めます。